TOKACHI TOYAMA FARM
食卓に笑顔の種を届けたい
ANNIVERSARY 1917-2017

土の香り

No.35　2020年

ホームページ
www.toyama-nojo.net
お電話、FAXでのご注文・お問合せ
電話＆ファックス　0155-60-2110

農業は止まらない

「皆様お元気ですか？お陰様で私たちも元気です。」
前身の「フェイム新聞」の冒頭はこのメッセージで始まりました。今、改めてお客様、読者様が私たちのお届けする農産物を食べることで心身ともに「元気」に生活しているかがより一層気になっています。「健康」はお金では替えられません。今ほど「健康」の価値・重要性を考える日々はないのではないでしょうか？また日常に「幸せ」はありますか？私の幸せは食卓をみんなで囲むこと、地元の温泉（サウナ）に行くこと、趣味のミニチュアカーを眺める時間などです。
共有できる「幸せ」も大切ですが、他人の理解が伴わずとも「幸せ」を感じること（自己肯定）も大事だと思います。
あなたの「幸せ」は何ですか？

デントコーン畑の前で

「今こそ、できることを考える」
３月以降、会合、お祭り、各種イベント様々な地域行事が軒並み中止になりました。友人や知人と会う機会は減りましたが、農業をはじめそれぞれの生活は続いています。代わりに農場周辺に費やす時間が増えて「やろうと思っていたけれど横目に保留していたこと」がたくさんできました。倉庫の改修、農地周りの作業性の改善、排水路の掃除など来る災害に備える準備でもあります。この夏、自粛や中止の中でも、地元農家有志で勉強会を行うなど範囲を限定しながらできることを行いました。幸い、仲間も協力的で日頃から地域の結束が強い農村エリアであったことを改めて認識しました。

もっと「十勝・帯広の魅力を伝えたい」
今年は修学旅行のキャンセルでファームステイが開催されず、農泊のゲストも直前でキャンセルになり対前年比－８０％で繁忙期が終わりました。それでも、新生活様式に則り受け入れは継続しています。４年間で様々なゲストに訪れて頂き、中にはまるで親戚のような付き合いになったリピーター様やアーティストとのコラボイベントを開催するなど、農業をしているだけでは想像もつかない出会いが沢山ありました。今は自由に旅行することが難しく、旅行するにも決断や細心の注意が要りますが、まだ知らない地域・価値観を持った人との新しい出会いやかつて訪れてくれたゲストとの再会を願っています。

５つの「Ｆ」
これから合同会社 十勝とやま農場が提供したい価値を５つの「Ｆ」で表現してみました。
Food ,Fun ,Family ,Future ,Farm（食卓、楽しみ、団らん、未来志向、農場という空間）　代表社員 外山隆祥

PBQ(パンベキュー)で楽しい商品開発(8/21)

繁忙期になると休みなく働いたり、草取りなど大変なイメージの農業ですが、こんな楽しい仕事もあるのです！先日、帯広の老舗パン屋さん「満寿屋商店」の方々が来られて美味しい商品開発会議を行いました。会議という名の焼肉です。同店では農場産黒豆を使用した「黒豆塩バターパン」でお世話になっていますが、駅利用者の減少等で売り上げが伸び悩んでおり、改めて新商品の開発に挑戦しようということになりました。おにぎりの代わりにパンを食すパンベキューでの楽しく美味しい会議。黒豆を使ったパンの新商品が続々開発されるかも？！

お陰様で家族一同 元気にしています

徳男（91）週２回のデイサービスを楽しみ、時には椅子に座りながら家庭菜園の草取りをすることもあります。
聖子（61）手作りできるだけでなく専門的な知識も学びたいと２月に豆腐マイスターを取得。仲間も増えました。
暁子（39）だんだん重くなった我が子を抱っこしながら汗だくだった夏！　冬は身体を鍛えに水泳に挑戦したい！
隆祥（34）恒例のお盆休みの車中泊旅は稚内へ。娘の成長を思うと車内で寝られるのはあと何回かな？
剛士（32）島根県隠岐の島で漁師。お盆休みには百名山の４山（大台ヶ原、伊吹山、荒島岳、白山）登頂に成功。
佳裕（30）サラリーマン６年目。最近の興味は『エゾシカ』,狩猟免許を取得しジビエ・毛皮等活用について勉強中。
晶浩（28）妻の単身赴任により実家から通勤。セルフビルドしたROUTE55に同居し、目下クラフトビールに夢中。
美利河（27）札幌単身赴任中。夏は日帰り登山でリフレッシュ。秋は大雪山系縦走にチャレンジしたい。
桂菜（2）おしゃべりが止まらない、みんなのアイドル！　ＡＢＣの歌をリピートして英語の曲にもノリノリです。

ＨＡＬ農業賞を受賞

令和２年１月３０日に（一財）北海道農業起業家研究所（ＨＡＬ財団）が主催する第１５回ＨＡＬ農業賞表彰式に出席し、優秀賞を受賞いたしました。

受賞理由

・「食卓に笑顔の種を届けたい」という明確なモットーを掲げ、日々の営農を行っており、それが消費者、利用者目線の事業につながっている。
・消費者への直販は、購入しやすい価格、数量の商品を用意するなど、他の農業経営者も発想、着眼点を参考にできる事業を行っている。
・聖子氏が発行をはじめた「フェイム新聞」は現代表に引き継がれ、「土の香り」として通算３４号に。さらに現代表の妻が発行する「農家のヨメ？！通信」は２０１５年から発行され、すでに１１号。このように消費者への情報発信を長きに渡り続け、消費者から身近で親しまれる存在となっている。

１９９２年より発行を開始し世代を超えて２８年続く「家族新聞」も選考理由の一つとして光が照らされる事となりました。これもひとえに産地直送を支えて下さるお客様お一人お一人のお陰だと改めて感謝しています。ありがとうございます。

受賞式に招待して頂きました

楽しい空間づくり

温泉が豊富な十勝では昨年頃からフィンランド式サウナ熱が上昇しています。そんな折、温泉サウナ体験記を暁子が参加するwebマガジン「musubime-mag.com」に投稿したところ、帯広市の地域おこし協力隊員“今さん”が連絡をくれてアウトドアサウナを体験することとなりました。時節柄数名の知人にも声をかけての開催でしたが、自分たちの住む空間にこんな素晴らしい価値もあったのだ！と再認識しました。街中の温泉巡りにサウナが加わり家族を巻き込んでささやかなムーブメントになっています。
農家民泊を行う中で、お客様により面白いことを提供したいと思い、現在貸切りサウナ体験プランやそれに伴うクラウドファンディングのアイデアを考案中です。将来的には常設（もしくは移動式）の貸切りサウナ小屋で最高のリラックスした『ととのう』時間を提供していきたいと構想を膨らませています。乞うご期待ください！！

Facebookも更新中！

現在１０２８いいね！(9月5日)

編集・発行
合同会社 十勝とやま農場 外山隆祥
農業生産・産地直送
農家民宿 Route55・Biei
〒080-2106
帯広市美栄町西6線128番地
Tell&Fax 0155-60-2110
メール info@toyama-nojo.net

編集後記

毎年恒例の修学旅行生のファームステイ、市内中学生の自然体験学習、農業高校生の職場体験実習等々の受け入れが、今年は軒並み中止になる中、市内東小学校３年生の市民学の講師依頼があり７月７日、４５分間の授業を担当させて頂いた。テーマは『大豆はかせになろう』。大豆の超簡単調理実習から始まり生育や活用方法、栄養価等々パワーポイントを活用し、わかり易く興味の湧く授業になるよう努めた。時節柄マスク着用で児童の表情もわかりづらかったが目はキラキラと輝いていた。
後日、先生と３４名の皆さんからの感想文も頂き大豆の持つパワーに興味を持ってもらえたことに安堵した。種まきは、大地だけではもったいない。農業者ならではの感性とメッセージを持って「はい、喜んで！」と機会があれば伝えられるものでありたい。　聖子